

賀正



大平スキー場

新しいヒュッテ完成

大きくなってオープン

降雪を前に工事を進めていました大平スキー場の「大平ヒュッテ」が完成。十二月十九日、関係者約百人が出席して竣工式とスキー場開きが行われました。

この日はまず、午前十時過ぎ、真新しいヒュッテ前で神事を行い、シーズン中の無事故を祈願したあと、町長、議長、長谷山スキー場運営委員長がテープカットをしてオープン。積雪量わずか十センチほどでしたが、待ちかねた子供たちが早速、雪の多めの所を選んで初滑りを楽しんでいました。

このあと、会場を高瀬館に移して竣工式と祝賀会が行われ、席上、あいさつに立った町長は「関係各位のお陰でりっぱなヒュッテの完成をみる事ができました。大平スキー場は、本荘由利で最も手近なファミリースキー場として、雪の少ない海岸部はもとより郡市民の方々から期待されており、町内外から多くの人が訪れてスキーを楽しまれ、さらに発展することを期待する」と述べました。皆さん、ヒュッテ新築のほかマゲレンデ拡張▽斜面修整▽ロープトウ増設▽駐車場整備 ーと一回り大きくなってオープンした郡市で唯一のナイタースキー場「大平」に、是非一度行き、冬の一日を楽しんでみては！

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

読んで新年の

活換投を申し上げます

昭和五十八年 元旦



知恵と工夫を出し合って

町長 小松 栄 男

水道拡張事業の進捗等であり
ます。



昭和五十八年の新春を寿ぎ、
皆様の御健勝と御多幸を祈念
申し上げます。

景気が低迷し国の財政が厳
しい折、東由利町はこれまで
にない重要な課題を抱えて、
新年を迎えました。

三校目の小学校統合。出羽
丘陵開発の初年度と畜産振興。
県営圃場整備の仕上げと、農
免道路と一般農道整備、農村
環境整備事業などの土地改良
事業。森林総合整備事業と森
林組合の強化。本町の資源活
用等の商工業振興。工場導入。

が合理的で、生活環境を便利
にすることです。この点の本
町の整備は急速に進んできて
います。

次に、新たな生産の場を創
り出すこと、導入すること等
で、新しい発展を考えなければ
なりません。町内の資源と
技術力、労働力をもっと活用
する方法について、行政と商
工関係の発想が必要です。

農業は、外圧と方向の選択
に迷っています。

国の明年度予算概要が発表
になっております。地方自治
体で一番関心の深い地方交付
税交付金が、前年比二〇%の
減になっております。これは、
不況のため国の税収が不足に
なったためで、本町のような
町自体の財力の弱い町では、
交付税交付金の減が一番に響
きます。なんとと言っても国に
お金がないのですから、これ
からは、町の事業は順位をた
てて、補助事業では補助金と
補助裏になる措入金、それに
町の持出金の割合を、計画良
くやって行くことがたいせつ
であります。

過疎対策は、まずもって本
町の各生産基盤と生活環境を
整備することです。生産作業

が合理的で、生活環境を便利
にすることです。この点の本
町の整備は急速に進んできて
います。

学校 仕上げの年に

議長 小野 昭一



明けましておめでとうござ
います。

昨年十二月八塩小学校が竣
工。いよいよ新年から新校舎
での勉強が始まります。心か
ら祝福すると共に、偉容を誇
る校舎にふさわしい立派な人
間に育つことを切にお祈りし
ます。

新年を迎えて

教育委員長 佐藤 松之助



皆さん、新年おめでとうご
ざいます。

いつも新年を迎えては、今
年こそはよい年であるよう、
心から念願するところであり
ますが、いろいろな難問が山
積している現実であり、これ

また昨年は、大平スキー場、
ヒュッテ、リフトの増設等一
応整備が完了し、愛好者のみ
ならず子どもたちには何より
のお年玉と思っております。
大いに利用し身心ともたくま
しく鍛えてほしいと思います。

水道、各種道路整備等継続
で新年に持ち越された多くの
事業がありますが、財政的に
厳しい折にもかかわらず、い
ずれも明るい見通しです。国
道一〇七号線大琴、奥ヶ沢工
区の改良事業も今年度本測量
が行われ、用地交渉も始まる
予定で、関係各位のご協力を

が解決されて、明るいよい年
になるのかどうか、甚だ疑問
でなりません。しかし、少しで
もよい方向に進む年であって
ほしいと思います。

五十七年四月から新発足し
た統合八塩小学校の校舎が、
見事竣工し、十二月二十三日
に落成式を挙行しました。本
当に喜びにたえません。皆さ
んとともに、心からお祝い申
しあげます。これは町当局、
議会の皆さんのご高配、ご指
導の賜であり、地域住民の熱

お願いしておきます。

また、事業費約三十五億に
及ぶ出羽丘陵開発事業も始ま
り、草地造成、それとの連絡
道等、本町畜産振興にとつて
極めて重要な事業となります。
残念なことに蔵、老方両小
学校の統合は財政見通しとは
裏腹に、合意地点を確定しな
いまま新年を迎えました。両校
とも老朽度のはなはだしい校
舎です。民主社会は個々の主
張を一〇〇%満足させること
は不可能であり、教育行政の
政治的中立を尊重、大局的見
地から一切を教育委員会の判
断にゆだねるべきではないか
と思います。そして、統合校建
築起工の年となるよう念じ努
力して参りたいと存じます。

心なご要望、ご協力のおかげで
あります。この機会に衷心よ
り敬意と感謝を申しあげます。
近代的設備の整った立派な校
舎で勉学することのできる子
どもたちの幸せを考え、学力
の向上することを期待し、八
塩小学校の、更に一層の発展
を祈念いたします。

老方小と蔵小の統合を、五
十八年度の実現を目指して、
これまでいろいろと協議を重
ねてきましたが、校地の選定
について、なかなか一致点を
見出すことができず、甚だ残
念でなりません。両地区が大
局的立場に立って、できるだ
け早く解決されることを切望
しております。

転作等目標面積は179㌔

58年度軽減面積は一律配分

五十八年度の転作等目標面積と政府買入れ限度数量が十二月二十日県から示され、本町には、転作等目標面積百七十九㌔、限度数量四千五百六十八㌔が配分されました。これは、第二期水田利用再編対策（五十六～五十八年度）の目標配分量に比べ、面積は二十五㌔の減、限度数量は百五十五㌔の増となっています。町では、同月二十四日に水田利用再編対策協議会を開き、配分方法や推進方法などについて検討してもらい、その結果をもって同月二十七日自治会代表者会議を開き、各集落別、農家別に目標面積を示して協力をお願いしました。

今回の配分は、五十七年の米作が全国的に不作のため、五十八米穀年度の需給が窮迫するという予測のもとに緩和措置がとられたことによるものです。自治会代表者会議には、自治会長、協同班長、共済部長の皆さんに参集願ひ、配分方法や推進方法などについて説

は、固定した。

② 五十七年度転作等目標未達成者には、公平確保措置を行った。

③ 軽減面積については、水田面積割に一律配分した。軽減率 二・一%

④ 五十七年四月以降十二月までに、農地法及び農用地利用増進法に基づいて異動のあった水田面積については調整した。

農業生産再編成の基本線には変わらず

五十七年度の転作等実施面積は、目標面積を一・八㌔上回る一九五・八㌔となり、奨励補助金、加算金を合わせて一億八千万一千円の交付を受

けました。

しかし、反省点として▽重点作物（大豆、すいか、かぼちゃ、サトイモ）の作付面積が年々減少してきており、出荷販売量が激減している。また、販売農家も固定化してきている▽作付面積に比べて、出荷量はほんのわずかである▽集団化、団地化が進まない

一などといったことがあげられています。

また、結果的には三年連続して軽減措置がとられたとはいえ、五十九年度からは第三

町転作褒賞で三氏に表彰状

十二月二十七日の水田利用再編自治会代表者会議の席上、五十七年度町優秀転作集団等褒賞事業の表彰が行われ、個人の部で、転作の推進と定着

期対策が始まるものであり、農業生産の再編成のために転作の推進、定着を図るといふ基本線には変わりはないといえます。こうしたことから町では、

関係機関と協議を重ねながら問題点を具体的に分析し、転作物の定着と農家経営の安定を図るよう諸対策を講じることにしています。

温泉調査特別委を設置 掘削に必要な町有地を無償貸付

議員の請求による町議会第十回臨時会が、十二月二十七日に招集され、温泉開発調査特別委員会の設置について一

臨時議会

議員の請求による町議会第十回臨時会が、十二月二十七日に招集され、温泉開発調査特別委員会の設置について一

温泉開発に関する諸問題を審査するため、特別委員会を設置することにし、委員に次の五氏を選任した。(○は委員長、○は副委員長、敬称略)

- 小松豊 ○長谷山二郎
- ・小野作右衛門 ・川尻幾郎
- ・小野要造

町有土地の無償貸付について

温泉掘削に必要な町有土地を、掘削期間中、無償で使用させるものとした。

- ・貸し付けの相手方
- 小野仁助・東京都千代田区外神田一ノ二ノ七

交通安全は「ゆとり」と思いやりの心から

例年一月から二月にかけての厳寒期は、積雪や凍結などで路面がすべりやすくなっているため、思わぬ人身事故の発生が心配されます。

また、お正月や新年会など、酒を飲む機会が多くなり、飲酒運転による交通事故も増えます。「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則をドライバーの一人一人が自覚し、これを守りましょう。交通事故防止→ドライバーにとっても、歩行者にとっても大切なのは「心のゆとり」とお互いに相手の立場を尊重する「思いやりの心」です。「ゆとり」と思いやりの心をもって安全運転、安全走行を心掛けましょう。

歳・老方小統合協議の経過

歳・老方両校統合校地の選定についての協議経過について

は、町報十月一日号、十二月一日号で紹介しましたが、その後の経過について概要をお知らせします。

いて協議した。

① 第二期対策の転作等目標面積の転作率一七・四%

② 第二期対策の転作等目標面積の転作率一七・四%

いて協議した。

町長は、蔵地

地区議員、宿地区議員と校地選定の促進について協議した。

町長は、蔵地

地区議員、老方地区議員と校地選定の促進について協議し、候補地の一つとして「島地区」を提案した。

町、議会、教

育委員会合同協議会



八塩小校舎全景

八塩小新校舎が完成 四百人が出席して喜びの竣工式

昨年四月に発足した八塩小学校の新校舎が、旧玉米小解体跡地に完成。十二月二十三日、町、議会、教育委員会、町功労者、教職員、児童、父母、地域住民など約四百人が出席し、同校体育館で竣工式が行われました。完成した校舎は、鉄筋コンクリート二階建て延べ二千四百五十二平方メートルで、全体事業費は四億五千二百二十二万二千円。(外構・グラウンド工事が未完成のため、事業費の

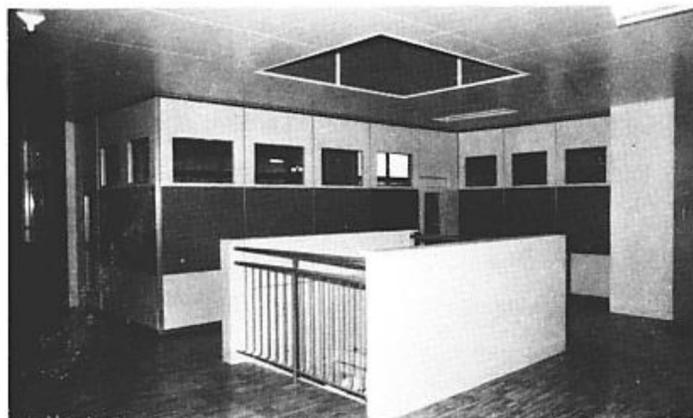


新校舎の落成を祝い、限りない発展を祈念しあった八塩小竣工式

一部は予算額であり、財源内訳とともに今後変更になる見込みです)

建築に当たっては、敷地の有効利用のため全体を凸型配置にするとともに、画一的な平面計画を避け、オープンプランを志向しつつ、ワークスペース、階段室、廊下などの空間確保に留意して、子供たちの学習に積極的な遊びや出会いといった要素を取り入れられるよう配慮しています。

また、全校児童、教職員と一緒に食事できる食堂、自然光を最大限とれるよう配慮しワーク・スペースや廊下など各所に空間を生かす工夫が



たトップライト(天窗)の採用など、各所に工夫が凝らされています。

校舎完成に伴い、児童たちは、臨時校舎としていた旧住吉小の「仮住まい」を終え、十二月二十日から新校舎に移っています。

午前十時三十分が始まった竣工式では、町長が「学校統合は行政の難事であり、教育委員会、議会、地域の協力に敬意と感謝を申し上げます。学校統合はまた、教育、社会の統合でもあり、学校教育と地域社会が表裏となり、お互いに励み、信じ合い、地域発展のために今後のご精進を願う所です。ご参加の皆様とともに、八塩小学校の限りない発展を祈念する」と式辞。

佐藤教育委員長が「待ちに待った新校舎の竣工をみ、名実ともに八塩小が完成した。立派な校舎に、立派な魂を入れるのが児童みなさんの役目。勉強に運動に、より一層励み、落成を祝いました。



二階廊下

新しい校風をみんなのでつくりあげるよう努力してほしい」と告辞を述べました。

続いて、小松助役が工事報告。設計・施工業者と学校用地等協力者に、町長から感謝状を贈りました。

このあと、小野町議会議長、井出県中央教育事務所由利出張所長の祝辞、斎藤同校校長のあいさつがあり、児童を代表して渡辺譲君(六年)が「広くて明るい校舎に入り、九カ月間臨時校舎で勉強、運動に一生懸命がんばってきたことが夢のようだ。これまで以上に校舎をたいせつにし、立派な学校にするよう努力したい」と述べ、最後に、佐藤同校PTA会長があいさつして、式典を終えました。

このあと、正午過ぎから祝賀会に移り、祝唄や祝舞が披露され、会場からは飛び入りも多く出て、参会者一同、杯を交わしながら盛大に新校舎落成を祝いました。

自然光を最大限とれるようトップライト(天窗)を採用

清浄な水を末代まで

東由利水道 安全祈り地鎮祭 拡張工事

東由利水道拡張整備事業地鎮祭が十二月七日、工事請負八業者で組織する安全協議会の主催で行われました。

このあと、会場を有隣館に移し、主催者を代表して安全協議会長の大沼組社長大沼武且氏が「生活基盤のかなめである清らかな水を、末代まで残すという大仕事を任せられたことを誇りにし、工事受注者一同、互いに協力してりっぱな仕事を完成させ、関係各位の期待に答えるよ

東由利水道拡張整備事業地鎮祭が十二月七日、工事請負八業者で組織する安全協議会の主催で行われました。

このあと、会場を有隣館に移し、主催者を代表して安全協議会長の大沼組社長大沼武且氏が「生活基盤のかなめである清らかな水を、末代まで残すという大仕事を任せられたことを誇りにし、工事受注者一同、互いに協力してりっぱな仕事を完成させ、関係各位の期待に答えるよ

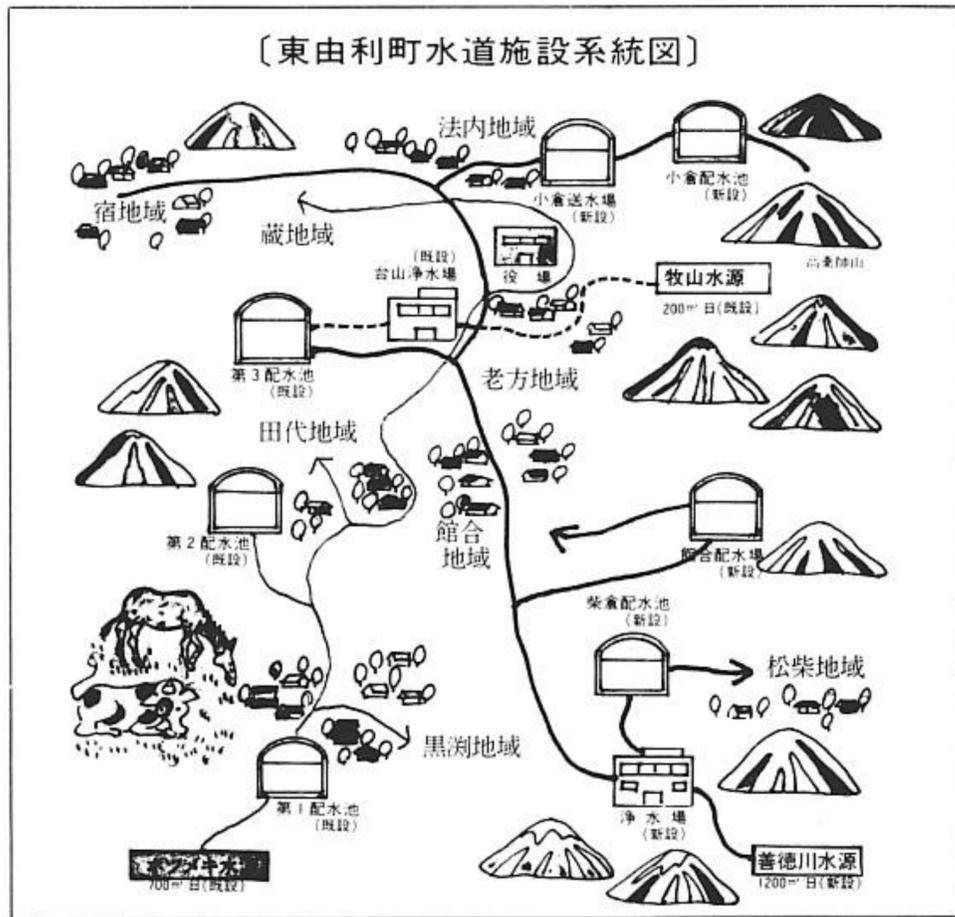
う努力する」とあいさつ。来賓として祝辞に立った町長が「懸案となっていた水道拡張事業は、県内六十町村のうち五十六番目の低い財政力の本町にとって大変な事業であるが、関係皆様のご協力により、めでたく契約を終えることができた。工期は、国の予算の関係から五十九年までの三年となるが、町民の期待に答えられるよう、りっぱな工

を完成していただくようお願いする」と述べました。この水道拡張事業は、既設のボツメキ、牧山両水源に加え、新たに松柴の善徳川から取水し、四十三集落、千二百戸余りに給水するもので、松柴に浄水場と配水池、配水池、配水池、小倉に送水場と配水池をそれぞれ新設。導送・配水管延長は二九キロで、総事業費は九億一千三百万円を見込んでいます。

工事には去る十一月から進められ、五十七年度では、送配水管の約六割が敷設される計画です。



〔東由利町水道施設系統図〕



本町水道施設が整備されると、1日1人当りの給水量が190ℓから387ℓに増大します。

ご存じですか

年金にも税金が掛かる場合があります

年金にも税金が掛かる場合があります。年金にも税金が掛かる場合があります。

厚生年金、船員保険および国民年金の老齢年金や通算老齢年金などは、所得税の規定により給与とみなされ、所得税が掛かる場合があります。所得税法には、いろいろな控除がありますが、この控除総額を超えると課税対象となります。



諸 控 除	配偶者がいない場合		配偶者がいる場合	
	65歳未満	65歳以上	65歳未満	65歳以上
老年者年金特別控除	-	78万円	-	78万円
給与所得控除(最低額)	50万円	50万円	50万円	54万円
老年者控除	-	23万円	-	23万円
基礎控除	29万円	29万円	29万円	29万円
配偶者控除	-	-	29万円	29万円
合 計	79万円	180万円	108万円	213万円

〔注〕六十五歳以上の者の給与所得控除額が五十四万円となるのは、二百三十三万円から老年者特別控除額七十八万円を控除した後の額百三十五万円に対して、給与所得控除額が計算されるからです。

冬道は 進む度胸より 止まる勇氣!

老人医療事業 特別会計を設置

リフト一日券 小・中学生一、五〇〇円 その他二、〇〇〇円

十二月定例議会

町議会第九回定例会は、十月十七日に招集され、新たに老人保健医療事業特別会計と大平スキー場運営費特別会計を設けるとする町特別会計条例の一部改正のほか、議員提案による町議会委員会条例の一部改正など十四議案を審議。同日二十一日、いずれも原案どおり可決して閉会しました。今議会における町長の行政報告、一般質問、可決案件等の概要は次のとおりです。

行政報告

出羽丘陵開発 全体事業費 本町は35億円

草地造成費補助5%かさ上げ



町長 山本 哲生 行政報告を述べる

行政報告を申し上げます。八塩小学校建設工事は、計画通りに進行し、十二月二十三日に竣工式の運びとなっております。これまでの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。外部工事の一部とグラウンド整備は、最近の天候からして、明春、会計年度内に完成したいと考えています。

出羽丘陵開発事業は、当初東部全体で事業費が百四億円、

本町はその中で四十七億円でしたが、現在、東部全体の現況計画は約八十六億円になっています。本町の現況計画は、全体の四一%、約三十五億円になっています。この本町の概要を申し上げますと、参加者が一〇二名、草地造成面積二一七・四畝、造成費十三億七千万円。農道は、全体で約三十畝、十六億一千三百万円。農用施設は約一億五千万円。農用機械は約二億八千万円。導入牛の金額は、今のところ明確でないが、現況事業計画では一億円を計画しています。五十八年度事業の予定は、東部地区全体で七億四千三百万円、うち本町は三億九百万円です。内容を申し上げますと、草地造成として板戸地区二六・五畝、更田地区八・一畝、荒山地区七・六畝。農道は、幹線道路として大森地区二、三〇〇畝、A級支線として荒山地区七六〇畝を計画しています。

懸案でした草地造成費へのかさ上げは、議会のご協力によりまして、農道への県負担を増高することに成功しました。したがって、町の負担が農道から減少しますので、その分を草地造成費補助のかさ上げにしたい考えです。本町の造成面積のうち八六%は町有地であり、現在の試算によると造成単価が六十四万七千円です。これは、当初は七十万円を超していたものですが、急傾斜で造成費の増高する場所が現在のところカットしていることによるものです。残り一四%は、共有を含む個人有で、この造成単価試算平均が五十二万四千円となっています。

したがって、町有地の造成費が高くなっていますので、この面積に対して町が五%のかさ上げ補助をするという方針です。

以上で行政報告を終わります。

また、県発注の農道関係で、当初本年度中の完工を懸念した大琴橋は、国からの予算補正をいただき、九千四百八十七千円で最近完成をみています。

本年度、一般農道として着手した大台地区農道整備事業は、その後補正予算をいただき、全線二、六八〇畝中、本年は四五九畝を、下層路盤まで完成しました。

また、県発注の農道関係で、当初本年度中の完工を懸念した大琴橋は、国からの予算補正をいただき、九千四百八十七千円で最近完成をみています。

本年度、一般農道として着手した大台地区農道整備事業は、その後補正予算をいただき、全線二、六八〇畝中、本年は四五九畝を、下層路盤まで完成しました。

以上で行政報告を終わります。

水道拡張事業は、十二月十四日現在で、四工区(佐藤土建請負分)が八五%、五工区(エタニット建設請負分)が四七%の進捗状況です。建設課、産業経済課関係の事業進捗状況は、配布資料に記載のとおりです。

内容申し上げますと、町単独事業が三十六カ所、国県の補助事業は十三カ所、町事業の災害復旧工事は、河川が十八カ所、道路が五カ所、林道が二カ所、県発注の農道事業四路線、そのほか、産経課担当分の事業が、杉森会館等を含め四カ所です。この中で、林道ボツメキ線への取り付け分が未完成ですが、他は全部一〇〇%の完成をみています。

一〇七号線に関連して申し上げたいと思います。その後の改良事業、つまり、奥ヶ沢横渡間の方線の検討、決定ですが、去る十二月十四日、全体の協議会のあとに、県の担当者とは地元議員といっしょに方線の検討をいたしました。その結果については、今会期中に報告したいと思っています。

消防施設整備事業については、予算計上している防火水槽六基、積載車三台、消防機械置場一棟が完成しています。教育関係では、大琴小学校の物置き小屋の進捗が、現在九割です。

内容申し上げますと、町単独事業が三十六カ所、国県の補助事業は十三カ所、町事業の災害復旧工事は、河川が十八カ所、道路が五カ所、林道が二カ所、県発注の農道事業四路線、そのほか、産経課担当分の事業が、杉森会館等を含め四カ所です。この中で、林道ボツメキ線への取り付け分が未完成ですが、他は全部一〇〇%の完成をみています。

一〇七号線に関連して申し上げたいと思います。その後の改良事業、つまり、奥ヶ沢横渡間の方線の検討、決定ですが、去る十二月十四日、全体の協議会のあとに、県の担当者とは地元議員といっしょに方線の検討をいたしました。その結果については、今会期中に報告したいと思っています。

消防施設整備事業については、予算計上している防火水槽六基、積載車三台、消防機械置場一棟が完成しています。教育関係では、大琴小学校の物置き小屋の進捗が、現在九割です。

以上で行政報告を終わります。

内容申し上げますと、町単独事業が三十六カ所、国県の補助事業は十三カ所、町事業の災害復旧工事は、河川が十八カ所、道路が五カ所、林道が二カ所、県発注の農道事業四路線、そのほか、産経課担当分の事業が、杉森会館等を含め四カ所です。この中で、林道ボツメキ線への取り付け分が未完成ですが、他は全部一〇〇%の完成をみています。

一〇七号線に関連して申し上げたいと思います。その後の改良事業、つまり、奥ヶ沢横渡間の方線の検討、決定ですが、去る十二月十四日、全体の協議会のあとに、県の担当者とは地元議員といっしょに方線の検討をいたしました。その結果については、今会期中に報告したいと思っています。

消防施設整備事業については、予算計上している防火水槽六基、積載車三台、消防機械置場一棟が完成しています。教育関係では、大琴小学校の物置き小屋の進捗が、現在九割です。

以上で行政報告を終わります。

内容申し上げますと、町単独事業が三十六カ所、国県の補助事業は十三カ所、町事業の災害復旧工事は、河川が十八カ所、道路が五カ所、林道が二カ所、県発注の農道事業四路線、そのほか、産経課担当分の事業が、杉森会館等を含め四カ所です。この中で、林道ボツメキ線への取り付け分が未完成ですが、他は全部一〇〇%の完成をみています。

一〇七号線に関連して申し上げたいと思います。その後の改良事業、つまり、奥ヶ沢横渡間の方線の検討、決定ですが、去る十二月十四日、全体の協議会のあとに、県の担当者とは地元議員といっしょに方線の検討をいたしました。その結果については、今会期中に報告したいと思っています。

消防施設整備事業については、予算計上している防火水槽六基、積載車三台、消防機械置場一棟が完成しています。教育関係では、大琴小学校の物置き小屋の進捗が、現在九割です。

以上で行政報告を終わります。

内容申し上げますと、町単独事業が三十六カ所、国県の補助事業は十三カ所、町事業の災害復旧工事は、河川が十八カ所、道路が五カ所、林道が二カ所、県発注の農道事業四路線、そのほか、産経課担当分の事業が、杉森会館等を含め四カ所です。この中で、林道ボツメキ線への取り付け分が未完成ですが、他は全部一〇〇%の完成をみています。

一〇七号線に関連して申し上げたいと思います。その後の改良事業、つまり、奥ヶ沢横渡間の方線の検討、決定ですが、去る十二月十四日、全体の協議会のあとに、県の担当者とは地元議員といっしょに方線の検討をいたしました。その結果については、今会期中に報告したいと思っています。

消防施設整備事業については、予算計上している防火水槽六基、積載車三台、消防機械置場一棟が完成しています。教育関係では、大琴小学校の物置き小屋の進捗が、現在九割です。

以上で行政報告を終わります。

可決案件

【町大平スキー場設置条例の一部を改正】

リフト、貸スキー、貸ロッカーの使用料を次のとおり定めた。

(リフト)

○小・中学生

・一回券一枚 三〇〇円

・十四回券一枚 三〇〇〇円

・一日券一枚 一、五〇〇円

○その他

・一回券一枚 五〇〇円

・十四回券一枚 五〇〇〇円

・一日券一枚 一、〇〇〇円

(貸スキー(靴、ストックセツト)) 一回 一、五〇〇円

(貸ロッカー) 一回 二〇〇円

○町

【町特別会計条例の一部を改正】

新たに「大平スキー場運営費特別会計」「老人保健医療事業特別会計」を設置することにした。

【障害に関する用語の整理に関する条例について】

関係条例に用いられている不適当な用語について改めたもの。

・「痲疾」→「障害」

・「不具痲疾者」→「重度身体障害者」

【町国民健康保険条例の一部を改正】

被保険者資格の取得及び喪失等に関する届出、また必要事項に関する質問、物件提示

に対し、無届けや虚偽の届出、答弁した場合の過料を、五十八年二月一日から二万円(現行二千元)とすることにした。

【町議会委員会条例の一部を改正】(議員提案)

資格審査特別委員会、懲罰特別委員会の設置及び委員定数(それぞれ九人)について定めたもの。

【町議会会議規則の一部を改正】(議員提出)

秘密会の動議提出についての手続き規定を定めた。

・質疑の回数を、同一議員につき、同一議題について三回(現行二回)をこえることができないとした。

・請願の紹介を取り消す場合の手続き規定を定めた。

・質疑、討論の終結に関する準用規定を改めた。

【昭和五十七年度町営土地改良事業の経費の賦課徴収等を定めることについて】

大吹川袖山地区で施行した農村総合整備モデル事業営農飲雑用水施設整備に係る経費の賦課基準並びに徴収の時期、方法を、次のとおり定めた。

一、分担金の賦課基準

二、徴収の方法

三、徴収の時期

町長が定めた時期

【昭和五十七年度町一般会計補正予算(第八号)】

歳入歳出予算の総額からそれぞれ千九百三十三万二千元

を減額し、歳入歳出それぞれ二十三億七千四百三十万五千円とした。

歳出補正は▽県知事及び県議会議員選挙費九十二万円▽簡易水道特別会計繰出金一千七百四十四万八千八百八十円

▽土地改良総合整備事業費八万三千八百三十三円▽間伐促進対策事業費補助金二百二十三万二千円

▽八塩小学校建築費二千四百七十七万五千円

▽大平スキー場拡張整備関連費七百九十一万九千八百八十円

▽河川災害復旧費(四河川)一千五百五十一万九千九百一十円

【昭和五十七年度町簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ千五百五十五万二千元を

追加し、歳入歳出それぞれ三億一千五百十六万六千円とした。

歳出補正は▽東由利水道拡張事業設計委託料一千万円▽同事業地質調査委託料八十七万三千円

【昭和五十七年度町国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ三千三百四十九万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ三億九千八百八十一万四千円とした。

歳出補正は▽療養給付費二千六百五十一万六千円

▽助産費二百二十万九千九百七十七円

▽老人保健医療費拠出金六百七十万円

【昭和五十七年度町玉米財産区特別会計補正予算(第一号)】

陳情(秋田県平和憲法を守る会代表者沢田政治)

…以上二件は、地方自治体の議会が当然として議題とし、結論づけるにはふさわしくないといい結論に達し、不採択すべきものとした。―不採択と決定。

○産業建設常任委員長報告

・台山二号線の舗装について

歳入歳出予算の総額にそれぞれ六十七万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ三百八十五万五千円とした。

歳出補正は▽一般会計繰出金六十七万五千円。

【昭和五十七年度町老人保健医療事業特別会計予算】

歳入歳出予算の総額を、それぞれ一千七百五十万九千円とした。

歳出補正は▽医療給付費一千七百四十一万三千円

▽医療費支給費五万円

▽審査支払手数料四万六千円。

【昭和五十七年度町大平スキー場運営費特別会計予算】

歳入歳出予算の総額を、それぞれ一千四百六十一万円とした。

歳出補正は▽総括管理者、調理師、リフト管理人、レジ・サービス担当者ほか賃金五百

(県立本荘高等学校下郷分校PTA会長佐々木正輝、同校教頭小野弘三)…採択すべきとした。―採択と決定。

・館合集落に流雪溝の設置を早期に実現していただきたい陳情(館合地区流雪溝促進期成同盟会会長小野勝海)…採択すべきとした。―採択と決定。

○その他、継続審査としたもの

・し尿処理手数料の値上げについて条例改正のお願い(本荘黄金社責任者加藤斉)

・し尿処理手数料の改訂についてのお願(本荘由利地区環境整備事業連絡協議会幹事

五十五万三千円)▽ヒュッテ厨房賄材料費五百六十万円▽光熱水費・燃料費二百四十五万九千九百一十円

【町家庭奉仕員派遣事業費用の徴収に関する条例について】

家庭奉仕員の派遣要望のある家庭に可能なかぎり派遣できるようにするとともに、所得状況に応じて費用を負担していただくことにした。

○費用負担基準額(一時間当たり)

・生活保護法による被保護世帯(単給を含む)…無料

・生計中心者が前年所得税非課税の世帯…無料

・生計中心者の前年の所得税が三万円未満の世帯…二九〇円

・同三万円以上の世帯…五八〇円

昭和興業代表取締役中村喜正ほか二名)

・優生保護法の改正について(生長の家政治連合秋田県委員会委員長中村満彦)

・優生保護法第十四条第一項四号から「経済的理由」の削除について(「生命尊重の日」実行委員会)

以上四件は、教育民生常任委員会に付託。

・北朝鮮帰還の日本人妻の安否調査及び帰りに関する意見書提出について(日本人妻自由往来実現運動の会代表世話人池田文子)…総務常任(次のページに続く)

陳情

(付託事件に係る審査報告)

○総務財政常任委員長報告

・スパイ防止法制定促進に関する意見書の提出を求める要望書について(スパイ防止法制定促進秋田県民会議議長高橋弥太郎)

・スパイ防止法制定に反対す



陳情審査報告をする
長谷山総財委員長(上)
川尻産建委員長(下)

(前ページから続く)
委員会に付託。
・老方集落に流雪溝を早急に設置していただきたい(老方)

一般質問 (要旨)

企業誘致に関し東京連絡員を置く考えは

小松悌之助議員

〔質問〕 企業誘致について、例えば、町独自に東京連絡員または駐在員等を置き、積極的に進める考えはないか。

〔答〕 東京には秋田県の連絡事務所があり、専門の職員が県内への企業誘致について努力しているが、まだまだ各町村の要望に答えられないのが実情である。

こうした中で、町単独で連絡員等を置いて、現在の不況下においてはそう効果があるとは思わない。

〔質問〕 昭和54年11月現在における町結婚相談所への登録者数は、男子三百二十八名、女子百二十一名、計四百四十九名と聞いているが、その後の経過と今後の方向は。また、若者のつどう場を数多く提供するように、関係団体と協議のうえ積極的に進めるべきでないか。

〔答〕 青年のふれ合う場を持つことに賛成するし、行政がやるよりも青年自ら実施す

地区流雪溝建設促進期成同盟
会代表島山友一、小野熊蔵
・下通地内交通安全施設整備と後町未改良部分の改良舗装

促進について(下通自治会会長佐々木儀悦ほか二名)
……以上二件は、産業建設常任委員会に付託。

るほうが、感覚的にも企画的にも効果があるものであり、自発的に設けてほしい。それに対しての財政的な協力は惜しまない。

〔質問〕 過疎対策協議会の進展状態と町長の協議会に対する見解は。

〔答〕 過疎をこのまま放置

福祉施設を誘致する考えは

長谷山喜市郎議員

〔質問〕 在宅福祉、施設福祉の関連において、町外に出られない施設利用希望者のために、福祉施設を町内に誘致するよう、広域圏的な調査研究が必要と思うが、町長の見解は。

〔答〕 特別養護施設の誘致ができないかという主旨だと思いが、現在、県内各町村で施設の誘致合戦が繰り広げられており、非公式に、東由利に必要なものであるということとは福祉事務所に申し上げている。誘致にあたっては、建設費がかなりかかるとともに、用地、運営費などさまざまな

ていると思う。

〔質問〕 町過疎振興計画によると、昭和65年度ころの人口を六、五〇〇人前後と予想しているが、その根拠は。

〔答〕 昭和54年に策定した農村総合整備計画で目標人口としたものであり、昭和50年の人口を基に、その後の自然動態(出生、死亡)等を勘案して推計した数値である。

〔質問〕 出稼ぎの現状をどうとらえ、方向づけをしているのか。

〔答〕 出稼ぎは、歴史の経緯の中起こる社会現象ととらえ、それを否定せず、産業

問題もあり、検討を要する。こうした新しい事業をやるにしても、町内には学校統合など未整理の問題があり、これらを解決、整理し、新事業を構想しうる心理状況の整理を併せて考えていかなければ、実現の可能性は少ないと考える。

〔質問〕 先月下旬から今月上旬にかけて、町内の一人暮らし老人と重度身体障害者が人知れず死亡し、一週間も後に発見されたが、これに対してどう対応したか。また、こうしたことが再び起きないよう、じゅうぶんな防止対策を講じるべきと思うが。さらに、本町の一人暮らし老人等の実態とその対策は。

〔答〕 心から哀悼の意を表すとともに、状況を聞き、こ

の一つとして位置づけ、それぞれの対策を講じていかなければならないと考えている。

〔質問〕 蔵・老方両小統合問題については、教育委員会と町長の見解に相違がある。一日も早く意志の統一をはかるべきでないか。

〔答〕 人間である以上、見解の相違は当然あり得ることであり、意見が一致しない場合は一致するように調整をすることである。いまのところは過程の問題であり、ご指摘のような重大な問題ではないと思う。

広域圏においても積極的に啓蒙、実践事業を進めているところであるが、本町の福祉団体への指導、助言等、今後の対応をどう考えているか。

〔答〕 対応については庁内でも検討するし、各団体も実情の連絡を願いたい。

〔質問〕 これまでも取り上げられた霊柩車設置については、前向きに検討すべきと思うが。

〔答〕 先に五十嵐議員の質問に対して「やります」と答え、その後、庁内や議会の委員会でも協議検討した結果、やる手法がなかなかなく、実施するには問題があるということで一応見合わせということになったと理解している。提言の際には、具体的な手法についても併せて示してい

水道の凍結にご用心!

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなるこれからは、水道の凍結が心配です。気温がマイナス四度以下になると、水道が凍ったり破裂したりします。とくに、じゃ口や水道管の立ち上りの部分に多いものです。それぞれの家庭では不凍給水せんや水抜きせんの取り扱いに十分注意して凍結を防いでください。

この不凍式給水せん、水抜きせんは、水道を使わない時に凍結しやすい部分の水を抜いて凍らせないようにするものです。ですから、水を抜き忘れたり、完全に抜けていないか確認すると、その効果はあります。

もし凍らせてしまったら、水道管にタオルをかぶせ、その上からぬるま湯をかけて解かします。急に熱湯をかけると、水道管やじゃ口が破裂することがありますので、注意してください。

どうしても解かすことができない時は、役場水道係に連絡してください。但し、作業は有料となります。



町の建具屋さんたちが、町内で生産される間伐材や伐根材を利用して製作した大平ヒュッテのテーブルといす

町の建具屋さんたちが、町内で生産される間伐材や伐根材を利用して製作した大平ヒュッテのテーブルといす

ただくようにお願いしたい。
〔質問〕 集落密集地における流雪溝の整備については、これまでも種々調査研究されてきたが、まだ実現を見ていない。住民の長年の願いでもあり、事業促進を図るべきでないか。

〔答〕 いつも申し上げているように▽用地▽水▽敷設費用▽運営費の分担―などの問題について住民の協力がなければできないものであり、先ず、地元の態勢整備をお願いしたい。

〔質問〕 降雪期を迎え、町内の交通事故ゼロを目指すため、国・県・町道を含めた安全施設の総点検と整備促進をするべきでないか。

〔答〕 大賛成であり、早急に担当課員に実施させ、その結果について報告したい。

58年度予算編成の基本的考えは

阿部剛 議員

〔質問〕 国の行財政改革の実施により、地方自治体の財政圧迫は大変厳しいものがあると思うが、58年度予算編成にあたっての基本的考えは。

〔答〕 予算編成の段階に入っていないので具体的に申し上げる資料は持っていないが、経常経費の削減できる部分は現況ではないのではないかと、町単独補助についても、また、町単独補助についても、削減の要素が少ないのではないかと感じている。ただし、編成に着手してみればいろいろな問題が出て来ると思う。

〔質問〕 企業の誘致について、町長は会社訪問をしたことが

あるか、議会特別委員会の結果待ちなのか。町は積極的な姿勢に欠ける面があるように感じるが、例をあげると、日本電機の杉本技術部長に対し、町から誘致に関する資料を提出した経緯はあるが、その後の連絡はないと聞く。もう少し積極的な姿勢があってもよいのではないか。

〔答〕 現在は経済が冷えた状況にあり、いま行つて、それでは東由利にというわけにはいかないと思う。工業団地構想も出来、県や県東京事務所の情報をとり、景気の回復をみながら進めていかなければならないと考える。

〔質問〕 獣医師の現在の住宅位置は、獣医業に専念出来る環境ではないという畜産農家の苦情を聞く。冬期の問題等も含め、速やかに国道沿線に移転し、診療体制を強化す

ヒュッテのテーブル・いす 町の建具屋さんらが製作

大平ヒュッテ休憩室に納められた十七脚のテーブルと五十九脚のいすは、町内で生産された杉の間伐材や伐根材を利用し、県工業技術センターのデザイン指導を受けて、東

由利工芸「八杉会（はちすぎかい）」の皆さんが製作したものです。

八杉会とは、町内の建具職八業者のかたが、事業経営の合理化と木工業の健全な発展を図つていこうと、昨年十月に組織したものです。八杉会の「八」は、八人の八、末広の「八」、八本杉の「八」の意を併せ持ち、お互いの技術

〔質問〕 58年度から施行される出羽丘陵開発草地造成事業について、地元業者への発注の可能性を期待するものであるが、それには、業者間の体質改善が要求されるものと思う。これに対する行政指導を考えているか。

〔答〕 住宅を設定する際に、関係者と協議のうえ決定しており、車庫は役場のものを使用ということ、位置的には問題ないものと感じていた。不便であるという話は、今回初めて聞いた。そういう声があるとなれば、実情を調査のうえ、検討していきたい。

七〇センチを超えない うちに雪降ろしを

▼新積雪の場合、一平方メートルに一メートルの積雪でおよそ八〇キログラム▼積雪に水分を含んだ場合、一平方メートルに一メートル

の積雪でおよそ三五〇キログラム▼多雪地帯の普通木造建築は、一平方メートル当たり三〇〇キログラムに耐える構造になっています▼屋根に加わる重さは、雪のほかに風力が加わり、少なくとも七〇センチメートルを超えないうちに雪降ろしの必要があります。

春にはワンパク一年生 入学を前に健康診断



「よ〜く見て、次はわたしの番……」

虫歯や病気は早く治して健康な体で入学を——今春四月

に小学校に入る子供たちの健康診断が、十一月二十四日有

東田利の地名

= 31 =

五海保部落の北側に熊野神社があるが、五海保の地名はこの神社と切り離せない。元禄七年（一六九四）矢島の生駒藩家老金子久左エ門に差しだした「玉米中古来書」の写し（原本小野幸宣氏所有）に、熊野神社について、古社・熊野堂、山号甲峯山湯当寺、別当五戒坊、長谷山三石工門とある。古社とは古い神社のことで、いつ頃建立されたか不明の時に使われる。またどこか

五海保

られるが、なぜ熊野三山を分祀するようになったかは不明。おそらく関東武士の後裔や、修験者が熊野詣などでよって伝えられたのでないか。或いは熊の害を防ぎ静めるためであったのかも知れない。祭神は伊弉冉命といわれる。

（文・畑山昭一）

郷館で行われました。対象児は全部で八十三人。

お母さんやおばあさんに連れられ受け付けを済ませた子供たちは、聴力、視力の検査のあと、内・歯科の診察。

「はい、アーンして」——いつもは元気な、きかん坊

由佳さん・健男さんに知事賞

県発明展で十二人が入賞

「自然エネルギー」をテーマとした第三十一回秋田県発明展が十一月二十日から五日間、秋田市の県児童会館で開かれました。

これは、県民の発明考案に対する関心を高め、科学技術

別当の五戒坊が住んでいたことからの名と思われるが、今の五海保にいつなつたか確かなものはない。いずれにしろ神仏混淆で神を祀るが、仏語の五戒（五悪とも言い人々の守るべき戒めで、①殺生②偷盗③邪淫④妄語⑤飲酒）や、護戒（仏の戒めを守ること）からか、または五蓋（心に蓋をして善法を生じさせない五種の煩惱）の考えからなのか。これらのいりまじったのかはわからないが、仏教思想とかわりの深い地名のようである。

たちも、白衣のお医者さんの前では神妙な態度で、皆良い子ばかり。検診カードを手にし、自分の順番が回ってくるのを不安そうに待っている子、診察を受けている友だちの様子を横からジッと見つめる子など、表情はいろいろです。

の振興と産業の発展に役立たせようと、県と発明協会県支部が毎年実施しているもので、今回は、発明マニアの自慢の作品二百八十九点が展示されました。

本町からは、小学生四十五点、一般三点、合わせて四十八点を出品。審査の結果、大日向由佳さん（蔵小五年）と大日向健男さん（大琴、電気店経営）が県知事賞に輝いたのをはじめ、十二人が入賞、入賞総数の二割を占める好成績を収めました。

入賞者等は次のとおりです。

- （秋田県知事賞） ・ 大日向由佳（蔵小五年） 追とつ防
- 止反射板 ・ 大日向健男（大琴、電気店経営） 点滴液残量報知器
- （秋田魁新報社賞） 安倍正（八塩小四年） 省エネかい中電灯
- （ABS秋田放送社長賞） 小野美幸（八塩小三年） 万

検診を終えた子供たちは、すぐまた元の「きかん坊」に。階段を二つ、三つと飛び越し、一階から二階へ、二階から一階へと走り回り、心は早くも一年生気分、春が待ち遠しいといった感じでした。

能むし焼き器

（財団法人・斎藤憲三顕彰会賞） 佐藤真樹（大琴小四年）

便利なたきかけ器

（発明協会県支部長賞） 佐々木裕貴枝（大琴小一年）

- 町長日記は 休ませていただきます。
- 謹賀新年——今年、三月から四月にかけて統一地方選挙（知事、県議選）と農業委員選挙が、夏には参議院議員通常選挙に町長選挙が予定されており、この頃までには衆議院解散による選挙もありうるのではないかとこのうわさもあり、まさに選挙花ざかりの年のようなところ、参議院の選挙については、わが国選挙制度始まって以来の一大改正が行われました。即ち、全国区選出議員の選挙のしくみが改められ、拘束名簿式比例代表制が採用されました。これは、今まで候補者個人に投票してきたものを政党や政治団体に投票し、その全得票数に比例して各政党等があらかじめ中央選挙に届出している登録候補者名簿の一定人数が当選する方式です。それなりの合理的根拠があるわけですが、初めてのことであり、なんとなくなじみないようでもあります。これが棄権を誘発したり、白紙投票や無効票を増すのではないかと心配の向きもあり、有権者の理解を深めていただくためにも選挙管理委員会として適切な情報提供につとめなければなりません。
- また、地方選挙は、身近な選挙だけに国の選挙よりも投票率は高いが、とかく情実や買収供応等に汚され、自主性を失った投票が多いと言われています。違反のない、明るく清々しい選挙の推進に有権者皆様の助言とご協力をお願いします。
- 動くあられちゃんかし・佐藤良子（八塩小三年） 水中安全遊具 ・ 阿部毅（蔵小四年） 高窓ふき器
- （同県支部長奨励賞） 佐々木純（大琴小四年） 跡のつかないはえとり ・ 阿部清隆（同小三年） 便利な天ぶら受け皿 ・ 小野健悦（老方小六年） 温度計つきやかん ・ 佐々木健夫（大琴小六年） ランプつきチャイム

後田随想



総務課長兼選管書記長 小松耕之助

議院解散による選挙もありうるのではないかとこのうわさもあり、まさに選挙花ざかりの年のようなところ、参議院の選挙については、わが国選挙制度始まって以来の一大改正が行われました。即ち、全国区選出議員の選挙のしくみが改められ、拘束名簿式比例代表制が採用されました。これは、今まで候補者個人に投票してきたものを政党や政治団体に投票し、その全得票数に比例して各政党等があらかじめ中央選挙に届出している登録候補者名簿の一定人数が当選する方式です。それなりの合理的根拠があるわけですが、初めてのことであり、なんとなくなじみないようでもあります。これが棄権を誘発したり、白紙投票や無効票を増すのではないかと心配の向きもあり、有権者の理解を深めていただくためにも選挙管理委員会として適切な情報提供につとめなければなりません。

1月のこよみ

陰曆異名・睦月(むつき)
誕生花・福寿草(思い出)
誕生石・ガーネット(貞操)

曜日	行事
① 土	元日
② 日	
3 月	
4 火	役場仕事始め
5 水	町政座談会(住吉分館、1:30、於・八塩館)
6 木	消防出初め式(於・八塩小体育館)
7 金	町政座談会(老方分館、9:30、於・商工会館) (蔵分館、1:30、於・大蔵館)
8 土	
⑨ 日	
10 月	民生委員会
11 火	
12 水	高齢者と子供のつどい(於・八塩小体育館)
13 木	宿・袖山地区 栄養改善講習会 (9:30、高瀬館)
14 金	乳児健康相談(9:30、有隣館)
15 土	成人の日
16 日	家庭の日
17 月	
18 火	健康大学(1:30、有隣館)
19 水	貧血改善学級(9:30、大蔵館)
20 木	
21 金	1歳6カ月児健診(1:00、有隣館)
22 土	
23 日	
24 月	貧血改善学級(9:30、大蔵館)
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	育児学級(9:30、有隣館)
29 土	
30 日	
31 月	
摘要	31日 町県民税・国保税(4期)納期限

生徒の健全育成に協力を

本庄由利 生徒指導研究協高校部会

冬休みは、生徒が自分の生活を反省し、新しい年への生活目標を確立するよい機会です。しかし、反面、長期間の休みという解放感から、問題行動が発生しやすい時期でもあります。こうしたことを

- 《禁止していること》
- 一、夜間外出(やむを得ない場合でも午後八時まで)
 - 二、外泊(やむを得ない場合でも双方の保護者の同意が必要)
 - 三、成人映画、パチンコ、喫茶店、デイスコ等への出入
 - 四、バイク(冬季)、自動車の運転
 - 五、飲酒、喫煙、薬物乱用(シンナー等)
- 《学校の許可が必要なもの》
- 一、校外の集会、諸活動への参加

《募集科目・人員》

○看護科

58年度の学生募集

県立衛生看護学院

- 結婚
- 高橋美和 畑村 与一 二女
 - 小松貴博 山崎 正伍 長男
 - 小松真弓 田代 睦男 二女
 - 渡辺愛菜 館合新田 要 長女
 - 遠藤吉保 小倉 武 長男
 - 高橋康浩 松柴 春雄 長男

おしらせ

町の概要

人口総数	6,296人
うち男	3,112人
うち女	3,184人
世帯数	1,442戸
面積	148.51km ²
(57.11.30現在)	

とから、本庄由利地域生徒指導研究推進協議会高校部会(部長・佐藤順次郎西目農高校長)では、生徒の健全育成を図るため、次のような「高校生の冬休み生活心得」を作り、地域の方々の理解と協力を望んでいます。

- 参加
- ※ 同級会の許可基準(四条件) (1)昼間 (2)出身校で (3)恩師が出席し (4)飲酒・喫煙を伴わない
 - 二、アルバイト
 - ※ 不許可基準 (1)危険有害業務 (2)夜間業務(午後五時以降) (3)酒類を提供する業務 (4)バイクや自動車を用いる業務 (5)責任が重すぎる業務
 - 三、バイク、自動車の運転免許取得
 - ※ 冬休み中でも自動車の運転免許を取得したら直ちに学校に預かる約束になっています。

慶弔だより

11月21日~12月20日受付

○うぶ声

- ・三年課程 30人
- ・二年課程 45人
- 保健科 50人
- 助産科 15人
- 《願書受付期間》
- 看護科 1月10日~22日
- 保健科 1月17日~31日
- 助産科 1月4日~18日
- (注) いずれも当日消印有効
- 《問い合わせ・願書提出先》
- 〒010 秋田市千秋久保田町六ノ一〇 秋田県立衛生看護学院(電話〇一八八一三二一六一六九)

社福だより

香典返しとして、故長谷山キヨさんのご遺族(長谷山誠一郎さん、下通)から金一封が届けられました。

故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

○小野ムネヨさん(上里) 老方小へ雑巾150枚

○老人クラブ老方敬寿会婦人部(森川クメノ部長) 老方小へ雑巾140枚

善意

路上駐車は ヤメテ!



香典返しとして、故長谷山キヨさんのご遺族(長谷山誠一郎さん、下通)から金一封が届けられました。

統計で見るわが町 ⑧

工業生産額

市町村名	順位	指標
秋田市	1	28,084,689万円
県平均		1,359,725
六郷町	57	158,234
東由利町	58	149,259
岩城町	59	145,176
大湯村	69	37,761

昭和55年12月31日、情報統計課「秋田県の工業」

- (注)1.年間製造品出荷額等である。
- 2.製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額およびくず廃物の売払収入額をい、内国消費税が含まれている。
- 3.県平均は、69市町村の算術平均

商業販売額

市町村名	順位	指標
秋田市	1	116,885,812万円
県平均		3,391,654
八森町	62	171,245
東由利町	63	159,117
上小阿仁村	64	158,407
皆瀬村	69	52,441

昭和54年6月1日、情報統計課「秋田県の商業」

- (注)1.年間商品販売額である。
- 2.年間商品販売額は「卸売」「小売」「飲食店」の販売額
- 3.パーキャパレー・酒場・ピヤホールの販売額は除く
- 4.県平均は、69市町村の算術平均

東由利町報三三四 昭和五十八年(一九八三) 一月一日発行 発行 秋田県東由利役場 毎月一日発行 一部20円 印刷 KK本間印刷所

ほしい・・・ 町民体育館

体育指導委員が意識調査



近年余暇時間の増大とともに、スポーツ活動が盛んになり、そのための施設設備の充実が急務とされてきています。町体育指導委員会では、健康で活力に満ちた明るい生活の実現と、体力の維持向上のため、スポーツ活動の活発化を図っていますが、このたび、その一環として、スポーツ・体育施設に関する調査を実施しました。

調査は、町内各自治会単位に抽出した二十歳から六十歳の男女六百人に、十四項目にわたるスポーツや施設についての考えをアンケート形式で回答してもらったものです。回答率は全体で七六%に達し、町民のスポーツや体育施設に関する志向が明らかになっています。

例えば、「日常なか運動を行っているですか」という質問に対して、半数以上の人が「何もしない」と答え、その理由として「機会(施設

「あなたは本町の体育施設についてどう思いますか」

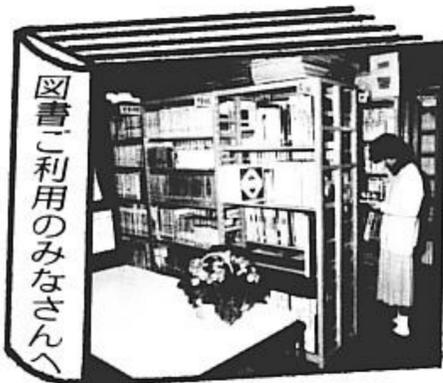
満足している	46%	満足し足りない必要あり	54%
満足している	49%	満足し足りない必要あり	43%
満足している	58%	満足し足りない必要あり	36%
満足している	56%	満足し足りない必要あり	39%
満足している	69%	満足し足りない必要あり	26%

「あなたは現在運動不足を感じていますか」

感じている	77%	感じていない	19%
感じている	76%	感じていない	17%
感じている	65%	感じていない	31%
感じている	46%	感じていない	50%
感じている	44%	感じていない	47%

また、運動不足についてもそれぞれの年代の半数以上が認め、特に若い年代では七〇%以上が運動不足をうったえています。こうした結果からみるに、スポーツの必要性や意義を認めながらも忙い機会がない、といったことから、実際には運動できないでいる人が多いことがわかります。体育施設で最も必要と感じているものは、各年代とも「町民体育館」をあげ、次が「自治会内の運動広場」となっており、大半が体育施設の整備充実を望んでいます。町体育指導委員会では、これらの調査結果をふまえ、最も要望の多い町民体育館建設の早期具体化を関係機関に働きかけるとともに、町民のスポーツ志向に答える努力を続けて行くことにしています。

公民館図書の出し出し方法を一部変更しました。



従来の個人カードから図書単位のブックカード方式としたもので、借り受けの際は、本の裏表紙に貼付してあるブックポケットからカードを取り出し、住所(学校名)、氏名を記入し、玄関の窓口に備え付けてある赤い箱に入れてください。また、返却の場合は、本を窓口に提出するようにしてください。

公民館のひろば



新春

移動町民室開催

町公民館の次の三分館では、町執行部の出席を要請して新春移動町民室を開きます。これは、地域の抱えている問題や要望などについて町当局と直接意見交換を行うことにより、お互いの理解を深め、よりよい地域、町づくりを努

めようというものです。多数参加してください。

分館	日時	会場
蔵	1/7 13時30分	大蔵館
老方	1/7 9時30分	商工会館
住吉	1/5 13時30分	八塩館

おしらせ

本荘市立図書館では別記の

読書感想文募集

第16回本荘市由利郡

課題図書で読書感想文を募集しています。応募は、小、中、高校生を除く、郡市民となっております。原稿は四百字詰原稿用紙5枚となっております。○課題図書
・本党坊遺文(井上靖)
・春(竹西寛子)
・忍びてゆかな(大原富枝)
・折々うたの世界(大岡信)
・事実をみる眼(柳田邦男)
・彼岸過迄(夏目漱石)

1月16日は家庭の日

学級名	地区名	期日	会場	内容
婦人	袖山	1/16	袖山分館	料理講習・講話
家庭	蔵	1/16	大蔵館	展示と講話
婦人	老方	1/17	商工会館	手芸と講話
〃	法内	1/24	克雪センター	リフォーム講習
〃	住吉	1/24	住吉会館	ダンス講習・講話
〃	宿	1/25	高瀬館	手芸講習
家庭	玉米	1/30	集会所	着付講習・講話

今月の家庭教育、婦人学級は次のとおりです。

○応募期限 1月20日 詳しくは公民館まで

自作視聴覚教材募集

本荘由利視聴覚センターでは、8ミリ映画、ビデオ、スライド等自作の視聴覚作品を募集しています。これら自作の作品をお持ちの方、いま手がけようとしていらっしゃる方はふるって応募してください。(詳細は公民館へ) 応募期限 1月30日